NEWS LETTER 2014.11.21 82

銀座街づくり会議

http://www.ginza-machidukuri.jp
〒104-0061 中央区銀座4-6-1 銀座三和ビル3F
Tel: 03.3567.1535 / Fax: 03.3563.0236 / E-mail: info@ginza-machidukuri.jp

＊メール配信をご希望の方はお知らせください＊このNewsLetterは、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています＊本誌の内容を、許可なく無断で複写・複製および転用・転載することを禁じます＊

オータムギンザ2014

「新富座こども歌舞伎」 泰明小学校公演

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

今年も銀座の一大イベント、オータムギンザが開催されました。銀座街づくり会議ではその期間中の１１月３日、泰明小学校校庭にて「新富座こども歌舞伎」公演を開催。演目は、舞踊「義経千本桜　吉野山」、芝居「白波五人男　稲瀬川勢揃の場」。秋空の下、中央区立小学校に通うこどもたち総勢２０名が演じる本格的な歌舞伎が、大勢の来場者を魅了しました。

３回目となる泰明小公演は、第一部、第二部合計１０００人を超える来場者があり、これまでで最多となりました。海外からの観光客も多く、タイから観光で来ているという方は、とても良い体験ができたと、舞台写真を何枚も撮って帰られました。

当日の特別ゲストとして、第一部には歌舞伎俳優の大谷友右衛門丈をお迎えしました。こどもたちの真剣な芝居に大変感銘を受けられ、こどもたちへの激励のお言葉をいただきました。そして、こうしたイベントを通じ、歌舞伎座や銀座にある和の文化をもっともっと盛り上げてほしいと期待を寄せました。また、第二部には矢田美英区長にもご参加いただきました。

来場者からも今回の公演への賞賛とともに、来年も必ず来ますという声を多数いただきました。

今後も銀座の文化活性化に寄与するイベントには積極的に取り組んでいきます。銀座と銀座周辺の和の文化、芸術がますます活発になり、文化も楽しめる街としてもっともっと発展していくことを願っています。

THE MIRROR 銀座「夜」の景観・「昼」の景観

銀座街づくり会議ホームページで
動画公開予定！ただいま準備中！

1930年に建てられた「銀座 名古屋商工会館」ビルでは、建替えを前に、ビル全体を使ったアートイベント「THE MIRROR」を開催されました。

「THE MIRROR」では、アートの展示だけでなく、銀座やアートにまつわるセミナーも多数行われました。銀座街づくり会議では『銀座の「夜」の景観』、『銀座の「昼」の景観』と題し、建築を彩る照明や広告が銀座においてどうあるべきかを考えるセミナーを開催しました。

１０月３０日に開催された『銀座の「夜」の景観』では、世界的な照明家である豊久将三さんをお迎えし、小林博人さん（慶應義塾大学教授）と竹沢えり子（銀座街づくり会議事務局長）とたくさんの照明によってつくりだされる銀座の夜景についてのトークを展開しました。

最近銀座ではLEDによる直接的な光が非常にまぶしく、明るすぎることが問題になっています。それに対し、豊久さんは、建物全体で同じ照度にするのではなく、低層階は強い光を下げる工夫が必要であると語りました。

『銀座の「昼」の景観』は１１月６日に開催。朝倉道宏さん（㈱ライトパブリシティ プロデューサー）から街並み景観における広告についてお話いただきました。街に出ている広告の多くは、他媒体からのリサイズであり、タレントを起用した広告は、せっかくタレントを使っているのだからと、人物を大きく表現したがる傾向がある。さらに、大きな企業であればあるほど、世界的に広告を展開するため、その街に合った広告表現などは考えられない。現状はそうした氾濫状況ではあるが、街並みに合った、屋外広告にふさわしいデザインがあるはずだと強調しました。そのうえで、良い広告を可視化することが重要でり、「銀座広告賞」を設置してはどうかという提案をいただきました。

銀座街づくり会議では、さらにシンポジウムなども行いながら、銀座の広告に対する考え方をつくりあげていきます。